

2023年11月20日

各 位

日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合

## 日本インパクト投資 2 号ファンドによる BPO テクノロジー株式会社への投資実行について

日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合(以下、「はたらく FUND」)は、BPO テクノロジー株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 山田 真也、以下「BPO テクノロジー」)が実施する第三者割当増資を引き受けました。

BPO テクノロジーは、「オンラインアシスタントを、日本でも当たり前。」をビジョンに掲げ、バックオフィス業務をオンラインアシスタントが請け負うサービス「フジ子さん」を展開しています。

「はたらく FUND」は、SBI ホールディングスの連結子会社である新生企業投資株式会社が国内の子育て関連事業へのインパクト投資<sup>※1</sup>を行うため、2017 年 1 月に邦銀グループが運営する初のインパクト投資ファンドとして設立した日本インパクト投資 1 号ファンド(通称「子育て支援ファンド」)の後継ファンドです。SBI グループに加え、一般財団法人社会変革推進財団を共同運営者、株式会社みずほ銀行をアドバイザーに迎え、多数の機関投資家さまにご出資いただいで運営しております。「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指しています。

日本では、生産年齢人口の減少等を背景に今後も慢性的な人手不足が予想されており、中小企業でもこれが顕著です。一因として、子育て世代の出産育児や介護のための離職等により労働力率が低下する傾向があることが指摘されていますが、何らかの事情で従来の働き方が難しくなった方に「100%テレワーク×フレックス×急に休めるチーム制」という柔軟な働き方を提供する「フジ子さん」には、埋没した労働力の掘り起こしへの貢献が期待されます。

「フジ子さん」では、最新の IT ツールを活用した業務効率化のための自動化提案も併せて行うことから、DX 化に課題を感じている顧客企業にとって、バックオフィス業務のアウトソースが同時に業務 DX の推進にも貢献しています。さらに、BPO テクノロジーでは、業務の受注を通して蓄積してきた知見やノウハウを活用し、ヒトに代わってデジタルが一部業務遂行する取り組み(デジタルレイバー化)を進めていく方針です。

こうした BPO テクノロジーの事業が、場所や時間にとらわれずに柔軟に仕事を継続する機会の創出と、企業の人手不足や生産性の改善および DX に繋がることを期待し、はたらく FUND が目指す「多様な働き方・生き方の創造」に沿っていると判断し、今般のインパクト投資を実行しました。また、投資検討段階から BPO テクノロジーの事業が社会に与えるインパクトを測定・可視化し、その結果を経営や事業プロセスの改善に活かす「インパクト測定・マネジメント」<sup>※2</sup>の導入についても経営陣と議論を重ねてきました。出資実行後も、社会的価値の創出と経済的価値の最大化の両面から BPO テクノロジーをサポートすることで、引き続き、インパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進してまいります。

※1 経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資。 ※2 社会的インパクト評価を経営の PDCA サイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと。

### 【BPO テクノロジー株式会社の概要】

名 称 : BPO テクノロジー株式会社  
設立日 : 2017 年 2 月  
代表者 : 代表取締役社長 山田 真也  
本社所在地 : 東京都中央区銀座六丁目 14 番 8 号  
事業内容 : オンラインアシスタントサービス「フジ子さん」の提供

### 【はたらく FUND の概要】

名 称 : 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合(通称、「はたらく FUND」)  
設立日 : 2019 年 6 月  
無限責任組合員 : 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合  
無限責任組合員 : 新生インパクト投資株式会社  
組合員 : 一般財団法人社会変革推進財団  
アドバイザー : 株式会社みずほ銀行  
期 間 : 投資期間 5 年、組合期間 10 年

投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイターステージ企業  
URL : <https://hatarakufund.com>

以 上